

## いつもの軒下

★滋賀県 湖東 愛知川  
☆愛知川上流 杠葉尾

愛知川に行くこと決まって最初に車を止めるところ……それは杠葉尾にある「ひろせ屋」さんだ。

いつもミニで日券を買う。

そして、店が開まった後、釣りから上がってミニの軒先で帰り支度をする。

御池で釣ろうが、神崎で釣ろうが、はたまた茶屋川で釣ろうが、余程のことが無い限り、最後は決まってミニにいる。結局、愛知川でお気に入りのイブニングポイントなんだろ。

ミニの軒下はウェイダーのままで立ち寄って自販機でジュースを買い、そのまま座って休憩できると言っても便利なところだ。

愛知川に通い始めたころ、いつも御池に入る事が多かったので、政所等で魚券を買っていたが、ミニの軒下に義理を感じて何時しか必ずこのヒロセ屋さんで魚券を買う様になっていった。

何度、ミニで雨宿りしたかわからないし、良くても悪くても、ミニの自販機でコーヒーを買って車に乗り込み帰路につく……愛知川の入りと出口の様な役割を果たしている。

思い起こすとこの川でも本流筋でお気に入り

になる所は川が大きく直角に曲がる所だ……ここには必ず大岩のぶっつけがあり、流筋を変えなければならぬ地形になっていて、そのぶっつけは大きな淵となり絶好のライズポイントとなる。そしてもうひとつは高圧線が横切っているところ……何故だか魚が溜まっているというイメージがある。

ライズの見識が浅い頃、この高圧線から落ちる雲の波紋をライズと間違え、殺気立ってストーキングをしたことは一度や二度ではない。もしかすれば、結局他のポイントよりも長時間釣る羽目になり、好きになってしまったのかもしれない。

この「ひろせ屋」さんの前には、この二つの条件が整ったポイントがある。

それこそ、ここで仕留めたライズはもはや数え切れないくらいになっている。あまごやイワナ……それに虹鱈……どうしてもイブニングはミニの前に立ってしまふ。

この辺りは川原に草も少ない花崗岩の本流で、キャンプ場が多く、整備されているのか竿を出していても気持ちが良い、少し上流に上がると同じ様なポイントがあり、ミニも有力、須谷川から落ちたイワナも上がる。更に上がると集落の護岸にあたって流れが曲がるころもお気に入りだ。

考えると、愛知川のイブニングはこれらのと

こかで釣っている。

「ひろせ屋」の親父さんに「何処がエエですか？」と問い掛けると、毎回決まって「そりゃ、この前やー」と豪語される。漁協の放流が神崎川と茶屋川の合流点でなされるらしく、その下流にあたるこのあたりが上手く魚が散って程よいと話してくれる。

結局は成魚放流の居残りを釣っている事になるんだろうが、これも今日の溪流釣りの実態な



んだらうと割り切っている。

「いつだか軒下で雨宿りをしていると・・・」

「釣れたか？」と親父さんが聞いてきた。

「今日はあきまへん」

「何処に入った。」

「御池・君ヶ畑」

「あんなトコ行かんとニニで釣らんかいー」

「でも雨止むかな？」

「もうちょっとで止む・・・」

と根拠があるか無いかもわからないが、天気予報まで豪語された。(実際止んだし、ライズも取れた)

しかし、一度だけ軒下でジューズを買って休憩していると・・・

「釣りですか？」と親父さんが出てきた。

「エエ・・・朝ニニで魚券買わしてもらいました。」

「どうですか」

「どうです今年は・・・」

「あかん・・・今年は漁協が放流しようんかったんでこの前はさっぱりですわ・・・神崎の魚が減ったとかで、そちらの稚魚放流に切替よつたらしい・・・林道の終点辺りは結構釣れる様ですよ！先だってもフライのお客さんが行かれて帰りに「良かった」と立ち寄ってくれました。もう、今からじゃ暗くなるし、まあ、この前はまあ・・・ダメもとでいっぺんやってみなはれ・・・」

・・・といつもの豪語は消えうせ、意気消沈し

た応えが帰ってきた。

「何ぼなんでもこの時期に放流やめても全くと言っこのことはないやろ？」

とポイントに入る・・・絶好期でもありカゲロウのスーパーハッチが始まった。

しかし、ライズは無い。何時までたっても沈黙したまま、いつしか闇に包まれていった。

「やっぱり親父さんの言うことは正しかったな・・・」と店が閉まった後の軒下で帰り支度・・・

翌年・・・

「日券下さい。今年はどうですか？何処がエエやろ？」

「この前や！・・・(これを聞いて安心安心！)」

安心安心！

### ■愛知川上流・杠葉尾の二案内

时期的には4月頭から5月末までで、6月に入ると川遊びも多くなると同時に魚影も殆ど確認出来なくなる。但し、GWは周囲にキャンプ場が多く川遊びの連中が増える為、注意が必要。ニニの漁協は成魚放流に虹鱒を混ぜるときがあり、そのときによって似つかわしくない大型の魚(虹鱒)が流れてライズしていることもある。このライズは散発でミッシェない難しい



が、イブニングになると#ヤヤ#16でも充分、クルーディングしながらライズするよりも、定位してライズするパターンが圧倒的に多く、フライサイズをあれせれば比較的釣りやすい。

特にカゲ

ロウのハッチが多い時はハックルタイプよりもCDCダンが圧倒的に捕りやすい。時として全く沈黙する場合も在るが、こんなときは淵のインレット側の荒瀬でWETを流すかフラッターで誘うと出やすい。イワナは暗くなりかけた頃から脇の岩裏などでサイズに合わない小さなライズをすることが多い。

しかし、一番重要なことは「ひらせ屋」さんの軒下で親父さんの豪語を確認することだ。

2006年 7月